

物理学会参加報告書

複合現象科学専攻 勝又郁枝

発表題目

Level truncation of pure gauge solutions in string field theory

発表内容

弦理論の非摂動論的效果である tachyon 凝縮は、弦の場の理論の古典解によって記述できます。Schnabl が弦の場の理論において解析的な解を構成しています。この研究では、レベル切断を用いて Schnabl の解の真空エネルギーについて調べました。

感想

この物理学会は、太平洋地域の素粒子物理学のコミュニティの合同会議として開催されました。この学会の目的は、お互いにそれぞれの仕事について話し、議論を行うことです。

海外で活躍している研究者の講演を聴くことは、最近の話題を把握できる良い機会でした。特に Schnabl の講演が聴くことができたのは、日本の研究会では得られない貴重な機会でした。また、講演及びポスター発表などを見て、わかりやすいプレゼンの仕方、説明をするときの喋り方等を参考にできました。

発表に関しては、ポスターの作り方等にもう少し工夫すべき点があったと思います。これらの経験を次からに活かしたいと思います。